

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記③

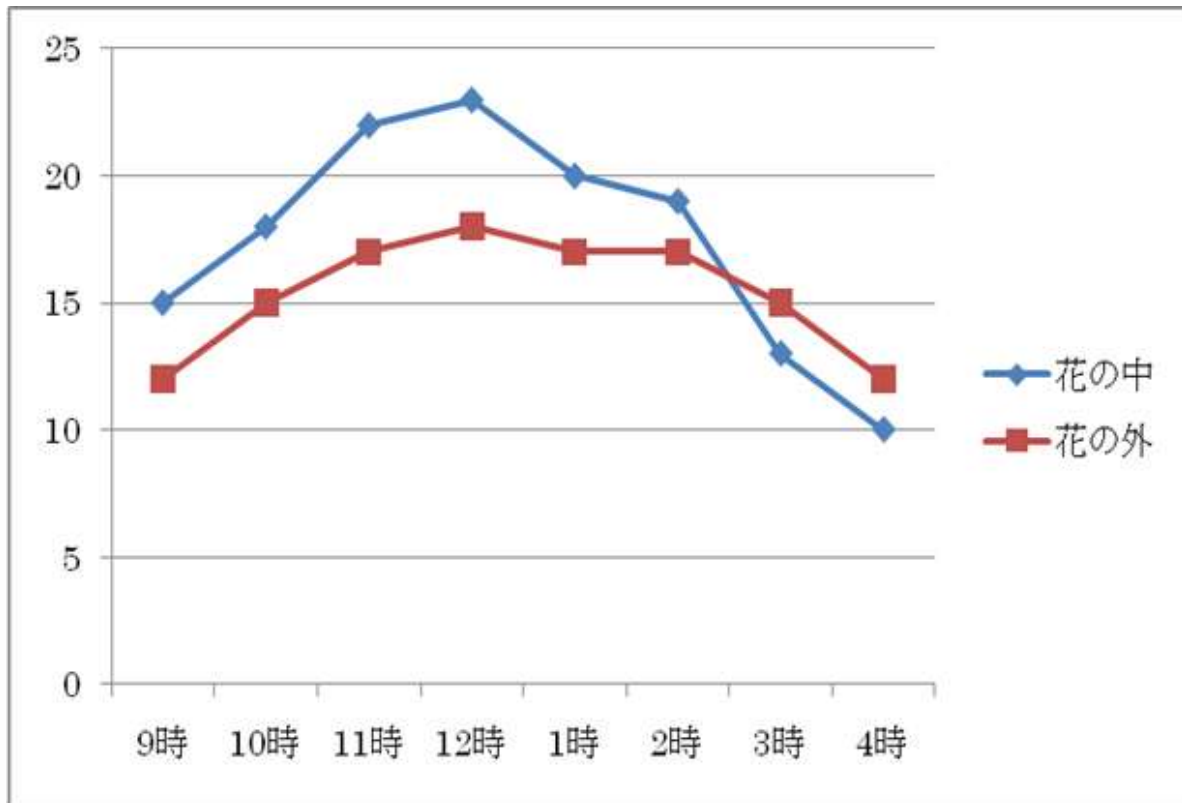
国立市立国立第七小学校

平成28年3月1日 NO.96 (296)

- オー君 「それにしても、まだまだ寒いのに、フクジュソウはよく咲くね。」
- 花ちゃん 「虫たちもまだ北風が冷たいのによくフクジュソウに来るわね。」
- オー君 「そうだね。きっとフクジュソウの花に何かひみつがあるんだよ。」
- 花ちゃん 「花のひみつ……。なんだかおもしろそうね。楽しくなってきたわ。」
- モンタ博士 「花と虫は、昔からなかよしなんだけど、虫が花に集まるのは、どうしてだったかな。」
- オー君 「花には蜜や花粉など、虫の大好きなものがいっぱいあるからですね。」
- モンタ博士 「そのとおりだね。ただし、フクジュソウには蜜はなく、花粉だけなんだよ。」
- 花ちゃん 「へえー。そうなんですか。知らなかったわ。それじゃ、虫たちは花粉を食べに花に来るとのことですね。」
- オー君 「凍えるように寒くても、花の中ってけっこうあたたかいのかもしれないね。」
- 花ちゃん 「そうね。そのとおりね。それでは、花の中の温度を測ってみましょう。」
- オー君 「うん。そうしよう。花の外の温度も測ってみようよ。くらべてみれば、また何かわかるかもしれないよ。」
- 花ちゃん 「1時間ごとに温度を測ってみましょう。」
- オー君 「そうだ。朝から夕方まで測ってみよう。」
- 花ちゃん 「実験を始めたら、必ず記録することが大切ね。」
- オー君 「それを表にしたらよくわかるね。」
- 花ちゃん 「表だけでなく、グラフにすると、もっとよくわかると思うわ。」
- モンタ博士 「そのとおりだね。実験結果を表やグラフにしたり、その結果を数値に表したり、比較することは、とても科学的だね。また、その結果からいろいろと自分なりに考えることがおもしろいのさ。」
- オー君 「それでは、実験を始めましょう。」

ということで、実験結果は以下のようになりましたとさ・・・。

フクジュソウの花びらの中と花びらの外の温度



花ちゃん 「うわあー！すごい。お昼の12時の花の中の温度って23度もあるわ。」

オー君 「外は18度だ。花の中は5度もあたたかいんだ。こりゃ、おどろきだ！」

花ちゃん 「フクジュソウの花の中で、ハナアブたちはひなたぼっこしているのね。」

オー君 「おやつ花粉をちびちびなめながら、日光浴を楽しんでいるんだね。」

モンタ博士 「ある人の実験では10度もあたたかったそうだよ。」

オー君 「10度もあたたかいなんて、おどろきですね。」

モンタ博士 「モンタ博士はね、ある時、フクジュソウの花の中に黒い小さな虫を見つけて、

それから自分でも実験したり、調べたりしたんだ。これからは自然の世界の

いろいろな不思議やひみつ、おどろきをたくさん発見しよう。」

太陽の光を集めて『目玉焼き』を作ろう！

パラボラアンテナは電波や光を一点に集める性質があります。ある人は、その科学の原理を利用して洗面器のようなボールに銀紙を貼り付けてミニパラボラアンテナを作成したそうです。その中心に鶏の卵を割って入れたところ、見事な目玉焼きができたとある本で読みました。また、ある友人は、ネットか何かでパラボラアンテナフライパンのようなものを購入し、見せてもらったことがあります。実際にやってみて目玉焼きができた時には感動しました。大人の管理がしっかりできていないと大きな事故ややけどなどすることがあるので、十分に注意して下さい。同じく虫眼鏡で太陽の光を焦点化するいたずらもありますが、これも子供だけでやってはいけません。科学は両刃の剣と言われるように、その使い方や利用目的を誤ると大変な事故になることを覚えておいてください。